教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

－ 令和７年度の実績 －

白鷹町教育委員会

目　　次

１．点検・評価制度について・・・・・・・・・・・１

２．令和７年度　教育委員会開催実績・・・・・・・２

３．予算の体系と主な取り組み・・・・・・・・・・４

４．点検評価表

学校教育の充実・・・・・・・・・・・・・６

生涯学習の推進・・・・・・・・・・・・２２

文化芸術の振興・・・・・・・・・・・・２９

スポーツの推進・・・・・・・・・・・・３３

１．点検・評価制度について

（１）概要

白鷹町教育委員会では、信頼される効果的な教育行政の推進と自らの説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定により、「教育に関する事務の管理及び執行状況に関する点検・評価報告書」を作成しています。

点検・評価を行うことにより、教育行政の課題や取組の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図ります。また、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することにより、町民への説明責任を果たし、信頼される教育行政の推進を図ります。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

第 26 条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（２）対象事業

令和７年度に行った主要な事務事業(「当初予算の概要」で示した事業)及び補正予算で追加した主な事業です。

（３）評価の項目等

必　要　性	：	役割分担、町が実施すべきものか、時代ニーズ・町民ニーズを踏まえているか等の視点 【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
有　効　性	：	施策を実現する手段・利用者に偏りはないか、成果や効果の把握等の視点 【4:十分　3:概ね十分 2:やや不十分　1:不十分】
費用対効果	：	運営方法、コストに見合った効率的な活動等を行ったか等の視点 【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
方　向　性	：	今後の方向性 【S：完了　A：継続して実施　B：若干の改善必要　C：縮小・大幅な見直し必要　D：廃止・中止　】

２．令和７年度　教育委員会開催実績

委員会開催日	番　号	議　案
令和 7 年 4 月 21 日	議第 11 号	白鷹町立小中学校全校の臨時休業の実施について
令和 7 年 4 月 30 日	議第 12 号	白鷹町児童生徒等の区域外就学の専決処分の承認について
令和 8 年 5 月 28 日	議第 13 号	スクールバスの取得に関する意見聴取について
	議第 14 号	白鷹町立小、中学校の学校運営協議会委員の任命について
	議第 15 号	白鷹町教育支援委員会委員の委嘱について
	議第 16 号	白鷹町図書館協議会委員の任命について
	議第 17 号	白鷹町青少年推進員の委嘱について
	議第 18 号	白鷹町社会教育委員の委嘱について
	議第 19 号	白鷹町スポーツ振興基金運営委員会委員の委嘱について
	議第 20 号	白鷹町競技力向上対策委員会委員の委嘱について
	議第 21 号	学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
令和 7 年 6 月 24 日	議第 22 号	白鷹町児童生徒等の指定校変更の専決処分の承認について
令和 7 年 7 月 24 日	議第 23 号	白鷹町スポーツ振興基金運営委員会規則の一部を改正する規則の制定について
	議第 24 号	令和８年度使用教科用図書の採択について
令和 7 年 8 月 29 日	議第 25 号	学習者用コンピュータの取得に関する意見聴取について
令和 7 年 10 月 30 日	議第 26 号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

委員会開催日	番　号	議　案
令和 7 年 12 月 19 日	議第 27 号	白鷹町立小、中学校の学校運営協議会委員の任命について
令和 8 年 2 月 13 日	議第 1 号	白鷹人育成基金条例の一部を改正する等の条例の設定に関する意見聴取について
	議第 2 号	白鷹町文化交流センターの管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定の専決処分の承認について
	議第 3 号	令和８年度白鷹町教育行政一般方針について
	議第 4 号	令和８年度白鷹町一般会計予算のうち教育費に関する予算の意見聴取について
令和 8 年 3 月 6 日	議第 5 号	白鷹町教育相談員の委嘱について
	議第 6 号	白鷹町立小中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
	議第 7 号	令和８年度白鷹町教育委員会事務局職員の人事異動方針について
	議第 8 号	令和８年度教職員人事異動の内示について
令和 8 年 3 月 18 日	議第 9 号	白鷹町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について
	議第 10 号	教職員の処分について
令和 8 年 3 月 24 日	議第 11 号	白鷹町生涯学習推進基金貸付規程の設定について
	議第 12 号	白鷹町立学校の教育職員に関する業務量管理･健康確保措置実施計画の策定について
	議第 13 号	令和８年度白鷹町教育委員会事務局職員の人事異動について

３．予算の体系と主な取り組み

「学び、集い、笑顔かがやく白鷹人」の育成

１．学校教育の充実（10款1項～3項、5項）

１．知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成

1　教育研究所運営事業
2　情報教育推進事業（ＧＩＧＡスクール構想推進）
3　公立学校情報機器整備事業
4　学校施設整備事業
5　小学校施設改修事業
6　中学校グラウンド排水対策事業
7　理科教育等設備整備事業
8　スクールバス運行管理等事業
9　スクールバス導入事業
10　部活動改革体制整備事業
11　部活動指導員配置事業
12　中体連・中文連活動事業
13　学校給食費支援事業
14　しらたか夢・未来事業
15　学校給食調理等業務委託事業
16　学校給食共同調理場設備整備事業

２．自他のいのちを大切にし、共生社会の実現に向けた教育の推進

1　地域学校安全指導員配置事業
2　教育相談事業
3　学校生活支援員配置事業
4　要保護及び準要保護児童生徒援助事業

３．地域・人を知り郷土愛を育む教育と質の高い教育の推進

1　新入学児童ランドセル贈呈事業
2　青少年国際交流事業（白鷹人育成事業）
3　英語指導助手（ＡＬＴ）設置事業
4　英語教育推進事業
5　郷土愛醸成事業（学校紅花栽培）
6　コミュニティスクール推進事業
7　１学級１新聞事業
8　特色ある学校経営推進事業
9　荒砥高等学校魅力化推進事業
10　白鷹高等専修学校支援事業

２．生涯学習の推進（10款4項）

- １．生涯学習推進体制の整備
  - 1　社会教育施設管理事業
  - 2　山峡の里交流広場改修事業
- ２．生涯学習としての自発的な学習活動に対する支援
  - 1　放課後子どもプラン推進事業
  - 2　二十歳のつどい開催事業
  - 3　白鷹学講座開催支援事業
  - 4　家庭教育支援事業
  - 5　地域学校協働本部事業
  - 6　白鷹町成績優秀者激励金交付事業
- ３．町立図書館の充実
  - 1　読書感想文及び生活文コンクール開催事業
  - 2　図書館情報システム運営事業
  - 3　読書活動推進事業
  - 4　佐藤文隆文庫活用推進事業

３．文化芸術の振興（10款4項）

- １．文化力の向上
  - 1　芸術文化振興（芸術祭）事業
  - 2　伝統芸能保存伝承事業
  - 3　こども芸術文化活動事業
  - 4　文化交流センター管理運営事業
- ２.文化財等の保護と活用
  - 1　文化財保護対策事業
- ３．歴史・文化の学習環境の充実
  - 1　文化財保護調査事業
  - 2　歴史民俗資料館管理運営事業

４．スポーツの推進（10款5項）

- １．健康、体力づくりに向け各年代にあったスポーツ活動の推進
  - 1　第60回白鷹若鮎マラソン大会開催事業
  - 2　地区対抗駅伝競走大会開催事業
- ２．スポーツ協会や各種団体の育成
  - 1　白鷹町スポーツ振興基金事業
  - 2　白鷹町スポーツ協会運営強化支援事業
- ３．スポーツ施設の整備・充実
  - 1　社会体育施設管理事業

大項目　1.学校教育の充実

中項目　1.知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成

係名　学校教育係

（№15，16 調理場管理係）

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	教育研究所運営事業	【事業概要】 教職員相互の調査研究等を行い、教育経営や授業等の実践向上を図りました。 【成果】 全教職員参加のもと、授業を通した研究・研修を行い、教職員の資質向上につながりました。 ＜重点事項＞ 1. 学力向上に向けた取組の推進 2. 不登校対策に関わる課題の解決 3. 特別支援教育に関わる専門性の向上 4. 学校間連携による教育活動の充実	990	4	4	4	A	【その他特記事項】
2	情報教育推進事業（GIGAスクール構想推進）	【事業概要】 学校ICT機器・1人1台端末の保守等を行うとともに、主体的・対話的で深い学びの視点に立ったICT機器活用支援を実施したほか、プログラミング授業の支援を行いました。 R7年度は、GIGAスクール推進の基盤となる安定的な通信環境確保を図るため、ネットワークアセスメント業務を委託して実施しました。 【成果】 全小中学校において、安心安全なICT環境の保守を適正に行いました。また、ICT活用支援員・GIGAスクールサポーターとを配置し、プログラミング授業やICT機器の活用支援などを行い、全学年必ず1回はプログラミングに関わる授業を行い、実践を積み上げることができました。	24,118	4	4	4	A	【その他特記事項】 R7年度に実施したネットワークアセスメントの結果をふまえ、R8年度に機器の設定変更及び関係機器の更新を実施します。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　1.知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成

係名　学校教育係

（№15，16　調理場管理係）

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
3	公立学校情報機器整備事業	【事業概要】 山形県の共同調達に参加し、1人1台端末の更新を行うとともに、授業支援ソフト及びフィルタリングソフトの更新を行いました。また、白鷹中学校に電子黒板6台を購入しました。 【成果】 スペック強化によりリアルタイムで意見を共有・編集しながら互いの考えを高め合う「協働的な学び」、クラウド上に教育データが蓄積されることにより一人ひとりの習熟度に応じた「個別最適な学び」それぞれについての推進体制の強化が図られました。	64,513	4	4	4	S	【その他特記事項】 端末の利活用に向けた研修や日常的なサポート体制の充実に継続して取り組んでまいります。
4	学校施設整備事業	【事業概要】 荒砥小学校マンホール改修（浮き対応）、鮎貝小学校給食搬入口のシャッター改修、支障木伐採等ほか、各小・中学校の施設改修を行いました。 【成果】 安心・安全な学習環境確保が図られました。	1,892	4	4	4	A	【その他特記事項】 各小学校の施設・設備の老朽化が顕著であるため、計画的に改修を行ってまいります。特に、児童生徒の安全に直結する箇所については、優先的に取り組んでまいります。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　1.知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成

係名　学校教育係
（№15，16 調理場管理係）

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
5	小学校施設改修事業	【事業概要】 小学校トイレ洋式化に向けた実施設計を行うとともに、荒砥小学校PAS（高圧受電設備の外部波及事故防止のための設備）の更新、鮎貝小学校多目的ホール及び荒砥小ワークスペースへの200Vコンセントの増設（白鷹中スポットクーラーの移設への対応）等を実施しました。 当初予算計上していた小学校トイレ洋式化工事については、国庫補助金の採択状況等をふまえ、R8年度事業として実施することとしました。 【成果】 安心・安全な学習環境確保が図られました。	10,991	4	4	4	A	【その他特記事項】 過疎対策事業債の活用など、有利な財源を活用しました。 小学校トイレ洋式化工事については、R8年度に事業を実施しています。
6	中学校グラウンド排水対策事業	【事業概要】 豪雨時の排水が課題となっている白鷹中学校のグラウンドについての排水対策工事を予定しておりましたが、国庫補助金の採択状況等をふまえ、R8年度事業として実施することとしました。 【成果】 事業費の一部について、明許繰越し、R8年度事業として実施することとしました。	0	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　1.知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成

係名　学校教育係
（№15，16　調理場管理係）

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
7	理科教育等設備整備事業	【事業概要】 理科教育の振興を図るため、理科備品の整備を行いました。（国1/2補助） 令和7年度は中学校分の整備を行いました。 【成果】 理科教材の充実が図られました。	1,027	4	4	4	A	【その他特記事項】 小学校分、中学校分の更新を隔年で実施しています。
8	スクールバス運行管理等事業	【事業概要】 登下校便としてスクールバス11路線、タクシー便3路線、路線バス1路線を運行するとともに、学校行事や中体連等にも活用しました。 また、東根地区の児童生徒が通学に利用する路線バスの定期代に対する補助を行いました。 【成果】 通常の登下校のほか、学校行事・部活動・クマ出没等にも柔軟に対応を行い、児童生徒の安全確保及び教育活動の充実に寄与しました。	67,013	4	4	4	A	【その他特記事項】 全路線の運行は、令和6年度から3年間の長期継続契約を締結しています。 熊出没に伴う安全対策のための臨時スクールバスを8月下旬から11月末まで、蚕桑小学校、鮎貝小学校で運行しました。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　1.知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成

係名　学校教育係

（№15，16 調理場管理係）

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
9	スクールバス導入事業	【事業概要】 平成22年に購入したバス1台の更新を行いました。 （国補助率:390万円を上限として購入費の2分の1の額） 【成果】 児童生徒の登下校の利便性と安全性を確保しました。	18,190	4	4	4	A	【その他特記事項】 今後も走行距離やバスの状況などを考慮し、計画的な更新を行っていきます。
10	部活動改革体制整備事業	【事業概要】 休日部活動の地域移行に向け、体制整備に必要なコーディネーターを配置するとともに、指導者謝礼など各地域クラブの活動に係る費用の負担を行いました。 【成果】 R6年度から実証を開始した4種目に新たに5種目が加わり、計9種目について、休日部活動の地域移行を行いました。 指導者連絡会等を通じて意見交換を行い、スムーズな地域移行が図られました。	3,193	4	4	4	A	【その他特記事項】 運営体制の確立に向け、R8年度中に運用ルールや保護者負担等について検討を進めます。
11	部活動指導員配置事業	【事業概要】 部活動指導員2名を配置し、部活動の指導や大会・遠征等の引率を行いました。 【成果】 文化部を含め全ての部活動について、計163日、300時間の配置を行い、教員の負担軽減につなげることができました。	525	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　1.知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成

係名　学校教育係

（№15，16 調理場管理係）

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
12	中体連・中文連活動事業	【事業概要】 部活動活性化のための経費として支出しました。 【成果】 生徒が出場する各種大会への参加費用等を支援し、負担軽減を図りました。 《運動部》 ◆県大会出場 〈団体〉 野球部、男子バスケットボール部、ソフトボール部、男子剣道部、女子剣道部、男子水泳部（4×100mフリー・メドレー）、男子柔道部、陸上部男子（4×100m）、陸上部女子（4×100m）、吹奏楽部 〈個人〉 ソフトテニス部女子、柔道部、剣道部、陸上部、水泳部 ◆東北大会出場 陸上部4名 ◆全国大会出場 陸上部2名 ◆地区新人大会県大会（決勝大会）出場 ＜団体＞ サッカー部、剣道部女子、ソフトテニス部男子 ＜個人＞ 剣道部、柔道部、陸上部 《文化部》 ◆県吹奏楽コンクール出場　吹奏楽部 ◆県美展入選　美術部3名	1,965	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　1.知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成

係名　学校教育係
（№15，16 調理場管理係）

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
13	学校給食費支援事業	【事業概要】 主食等の値上がりにより、副食費が圧迫される中で、給食費を値上げすることなく、給食内容の質の維持及び向上を図るため、補助金を交付しました。 R7年度は、物価高騰への対応について、当初予算15,000千円に対し、12月議会おいて7,000千円の増額補正予算対応を行いました。 【成果】 児童生徒の栄養価の確保と保護者の経済的負担の軽減が図られました。	22,000	4	4	4	A	【その他特記事項】 公会計化に伴い、R8以降は、一般会計の賄材料費に係る軽減交付金・中学校保護者負担分を除く一般財源経費として計上していきます。（支援は継続していきます。）
14	しらたか夢・未来事業	【事業概要】 白鷹人育成基金を活用し、町立図書館の小中学生向けの図書計575冊の整備を行いました。 【成果】 小説、進路や部活に役立つ本、趣味・実用書、社会問題など学習と関連する内容の本を幅広く整備するとともに、図書館が身近になるよう、漫画についても併せて整備をおこないました。	1,000	4	4	4	A	【その他特記事項】
15	学校給食調理等業務委託事業	【事業概要】 学校給食の調理・配送業務委託を実施しました。 【成果】 3期目の委託業務は概ね順調に進みました。	68,860	4	4	4	A	【その他特記事項】 長期継続契約 （R6.4.1～R11.3.31）

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　1.知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成

係名　学校教育係

（№15，16 調理場管理係）

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
16	学校給食共同調理場設備整備事業	【事業概要】 老朽化対策としてボイラー室オイルポンプの更新、調理室天井水漏れ対策等を実施したほか、給食の着実な品質保持を図るため、加熱処理された食品を急速冷却する真空冷却器を新たに導入しました。 【成果】 安心・安全な学校給食の提供体制が確保されました。	13,690	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　2.自他のいのちを大切にし、共生社会の実現に向けた教育の推進　　係名　学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	地域学校安全指導員配置事業	【事業概要】 スクールガードリーダーを1名配置し、通学路の点検・確認、巡回パトロール、見守り隊への指導・助言などを行いました。(国・県・町それぞれ1/3負担) 【成果】 配置した1名により、通学時の安全指導を行い、児童生徒の安全な登下校につながりました。クマ出没や不審者情報の際も立哨指導を行いました。	222	4	4	4	A	【その他特記事項】
2	教育相談事業	【事業概要】 教育相談員2名を委嘱し、町の教育支援教室「あっといーす」の指導者として、学校以外の子どもたちの居場所・相談場所、学びの場づくりに携わっていただきました。また、不登校児童生徒および保護者の対応や学校・家庭訪問等の教育相談、学校担当者との教育相談定例会を実施しました。 緊急を要する要請に対応するため、町独自にスクールカウンセラーを派遣しました。 【成果】 あっといーすについて、自分のペースで生活を整えたり、学習したりする場として、7名の児童生徒にのべ200回以上の利用いただきました。うち、4名が学校に復帰、うち1名は継続的な利用につながりました。	946	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　2.自他のいのちを大切にし、共生社会の実現に向けた教育の推進

係名　学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
3	学校生活支援員配置事業	【事業概要】 授業や集団生活等に適応できない児童生徒の対応や、習熟度別学習にも対応するため、小学校に9名、中学校に2名の支援員を配置しました。 【成果】 各学校の事情に応じた学習指導や、特に支援が必要な児童生徒の対応など、きめ細かな対応ができました。	38,555	4	4	4	A	【その他特記事項】 4月に、生活支援員に対する研修会を実施し、資質向上に取り組みました。
4	要保護及び準要保護児童生徒援助事業	【事業概要】 経済的に困難な状況にある世帯の児童生徒について学用品費や修学旅行費・給食費など、就学に必要な援助を行いました。 また、特別支援学級に就学する児童生徒等のうち一定の所得要件を下回るかたに対し、就学に必要な援助を行いました。 【成果】 小中学生計57名に対し、必要な援助を行いました。 ◇小学校費　2,478,562円 （準要保護21名、特支就学奨励15名） ◇中学校費　2,416,297円 （準要保護15名、特支就学奨励 6名）	4,895	4	4	4	A	【その他特記事項】 経済情勢の変化等による家庭の状況の変化などに応じ、途中認定などを積極的に行い、要保護世帯等の学校生活への支援を行っていきます。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　3.地域・人を知り郷土愛を育む教育と質の高い教育の推進　　係名　学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	新入学児童ランドセル贈呈事業	【事業概要】 町内児童の新入学を祝い、健やかな成長を祈るとともに、保護者の経済的負担の軽減等を図るため、町内で製作されたランドセルを贈呈しました。令和8年度新入学児童分を購入し贈呈しました。 【成果】 申請により希望の色等を選択していただき、対象者63名のうち60名に贈呈しました。（申請率95．2%）。	2,244	4	4	4	A	【その他特記事項】 町の魅力的な子育て支援策として、事業内容を町内外に広く周知していきます。
2	青少年国際交流事業（白鷹人育成事業）	【事業概要】 多様な文化・価値観に触れ自分・地域を再認識するとともに、異文化コミュニケーションにより違いを認めてともに共創する力を養うため、短期海外研修（オーストラリア・ケアンズ）を実施しました。（白鷹中学校生11名、荒砥高校生1名） 【成果】 11月10日から15日の日程で、オーストラリアケアンズに於いて実施することができました。ホームステイや現地の学校訪問等を実施し、充実した研修を行うことができました。研修後も町民報告会を開催し、町民の皆様に研修のまとめを発表する等、次代を担う中学生、高校生を国際性豊かな人材に育成するための目的に沿った事業を行うことができました。	6,312	4	4	4	A	【その他特記事項】 ・事業説明会 ・第1、2次選考試験（白鷹中生） ・事前研修会（5回） ・国際交流事業 ・事後研修会 ・町長報告会 ・町民報告会

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　3.地域・人を知り郷土愛を育む教育と質の高い教育の推進　　係名　学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
3	英語指導助手（ALT）設置事業	【事業概要】 小・中学校の英語学習の充実と英語に触れる機会を増やすため、英語指導助手4名（委託事業者からの派遣3名、日本人ALT1名）を配置しました。 【成果】 外国人ALT3名について、小中学校の英語の授業には原則毎回出てもらう体制を構築することで、理解を深めることにつながりました。 また、日本人ALT1名の配置により、日本語でもコミュニケーションをとりながらALTと教員がより連携して授業づくりを行うことができました。	20,947	4	4	4	A	【その他特記事項】
4	英語教育推進事業	【事業概要】 英語4技能検定「GTEC」を小6～中2に実施し、求められる資質・能力の理解と教職員の指導力向上に取り組みました。 【成果】 英語教科・英語活動への支援、英語教材の作成等を行い、教員やALTと連携した授業を実施しました。	1,224	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　3.地域・人を知り郷土愛を育む教育と質の高い教育の推進

係名　学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
5	郷土愛醸成事業（学校紅花栽培）	【事業概要】 生まれ育った町を愛する心を育てるため、「日本の紅をつくる町」プロジェクトの一環として、すべての小中学校で紅花の栽培に取り組みました。 【成果】 小学校は学校敷地内の畑で、中学校は杉沢地内に借りた畑で紅花栽培を実施しました。 全小中学校で摘んだ若菜は学校給食で緑黄色野菜のみそ汁として提供したほか、乱花は浅漬けに加えて提供しました。また、中学校では紅餅づくりにも取り組みました。	143	4	4	4	A	【その他特記事項】
6	コミュニティスクール推進事業	【事業概要】 地域住民や保護者等が学校運営に積極的に参画しより良い学校づくりを推進するため、学校運営協議会を各小中学校に設置します。 【成果】 令和3年度より全小中学校にて設置しました。学校教育目標の共有を進めることで、教育活動への理解や学校課題解決に向けた地域との協働的な取組の促進につながっています。	312	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　3.地域・人を知り郷土愛を育む教育と質の高い教育の推進

係名　学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
7	1学級1新聞事業	【事業概要】 小学5年から中学3年の全学級に新聞を購入し、児童生徒が新聞に親しみ学習に活用できる環境を整備しました。 【成果】 国語の授業や朝や帰りの会などで興味のある記事や県内の出来事等を紹介したり、その記事について話し合ったりする活動を通じて、社会や地域の出来事に関心を持つ態度が醸成されています。	855	4	4	4	A	【その他特記事項】
8	特色ある学校経営推進事業	【事業概要】 地域の学校という位置づけのもと、総合的な学習を通してスポーツ・環境・福祉・農業など、各校の特色に合わせた学習等を行いました。 【成果】 小学校については郷土愛の醸成、中学校については職業観の醸成に成果がありました。 ◇小学校費　534,600円 ◇中学校費　316,620円	852	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　3.地域・人を知り郷土愛を育む教育と質の高い教育の推進　　係名　学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
9	荒砥高等学校魅力化推進事業	【事業概要】 荒砥高校を地域の特色ある単独高校として存続させるため、地域と共同した活動などの支援を行いました。 【成果】 ◇特色ある学校づくり支援事業　300,000円 総合学科の必修科目である「産業社会と人間」への講師の招聘や中学生を対象とした一日入学の充実（リーフレット作成等）を図りました。 ◇学習支援員設置事業　1,180,860円 学習支援員4名の配置により、生徒の特性や学びの状況に応じたきめ細やかな支援を行いました。 ◇荒砥高校地域連携協議会活動補助金　322,559円 町・地域・荒砥高校が一体となって学校の魅力化及びそのための活性化策を検討するための協議会の設置に要する経費の補助を行いました。R7年度は、高校生自らがフラワー長井線沿線や白鷹町の観光案内ガイドを努める新たな取組である「駅からハイキング」の開催（31人参加）を支援するとともに、魅力化計画の改定を行いました。 ◇荒砥高校活性化事業補助金　9,532,198円 新入生応援事業や、チラシの作成、部活動強化支援、オンラインコンテンツの利用支援、デリバリー型学食、修学旅行費用助成及び自動車運転免許費用の助成を実施しました。	13,506	4	4	4	A	【その他特記事項】 荒砥高校について、学習に対する支援の手厚さや総合学科の学習内容について、山形市など村山地域の中学校から高い関心を寄せていただいていることから、進学に向けてのニーズやネックとなることなどについての調査の実施を新たに魅力化計画に盛り込みました。 入学生アンケートの見直しや卒業生の追跡調査等により成果や課題をとらえながら、魅力化の推進に向け取り組んでまいります。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　3.地域・人を知り郷土愛を育む教育と質の高い教育の推進

係名　学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
10	白鷹高等専修学校支援事業	【事業概要】 学校経営、教育活動の充実のための支援を行いました。 【成果】 学校運営全般を支援するとともに、複式学級を解消することができました。なお、R7年度は、学校運営補助について、光熱水費等の物価高騰のほか、入学者数の減等を受けた学費収入の減等を受け、12月議会おいて1,000千円の増額補正予算対応を行いました。 ◇学校運営補助　4,800,000円（町単独補助金） ◇教育充実支援負担金　228,095円（法令外負担金） 置賜3市5町で2,450千円を負担しています。	5,028	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　2.生涯学習の推進

中項目　1. 生涯学習推進体制の整備

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	社会教育施設管理事業	【事業概要】 社会教育施設（鮎貝ふれあい広場、山峡体育館）の管理を委託し、施設の適切な維持管理を行いました。 【成果】 地元区等に管理を委託し、良好な管理を行っていただきました。	2,597	4	4	4	A	【その他特記事項】
2	山峡の里交流広場改修事業	【事業概要】 地元十王区の要望により、山峡の里交流広場の山峡グランドのアスファルト化工事を行いました。 【成果】 今後イベントでの使用、地区の子供たちの遊び場、災害時の駐車場等に活用されます。	41,591	4	4	4	S	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　2.生涯学習の推進

中項目　2. 生涯学習としての自発的な学習活動に対する支援

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	放課後子どもプラン推進事業	【事業概要】 休日の子どもの安全・安心な居場所づくりを目的として実施するもので、地区コミュニティセンター等において、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動などを行う事業です。活動は、蚕桑、十王のそれぞれ地区コミュニティセンターに事業を委託して実施しています。 【成果】 特に夏場の野外教室では、サポーターの協力を得て熱中症対策を行ないながら実施することができました。また、会場準備など参加した子どもたちを主体に自主性を促すことで、子どもたちのやる気や達成感につながっています。	701	4	4	4	A	【その他特記事項】
2	二十歳のつどい開催事業	【事業概要】 町内在住及び町出身の20歳を対象として、毎年8月15日に開催しています。 【成果】 令和7年度の二十歳のつどいは、対象者118名のうち93名が出席しました。	578	4	4	4	A	【その他特記事項】 令和7年度は団体の調整がつかず、アトラクションを行えなかった。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　2.生涯学習の推進

中項目　2. 生涯学習としての自発的な学習活動に対する支援

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
3	白鷹学講座開催支援事業	【事業概要】 町民自らが企画運営する事業の実施団体に対し、補助金を交付することで支援を行いました。 【成果】 ○R7年度事業実績 【申請件数】3件 【交付決定】3件 【交 付 額】940,056円 ①「森の音楽祭」 【交付額】367,000円 【申請者】森の音楽祭実行委員会 【内　容】山、森には私たちの生活に密接な保水機能による洪水抑制機能、木材の生産機能、心を穏やかにする景観機能があり、忘れられてきたその多くの恵みに対し、あらためて感謝の意を表し、音楽祭を開催して多くの方々の意識醸成を行っていく。 【実施日】令和7年9月7日（日） 【会　場】上の台公演 【参加者】200人 ②渚ようこ衣装展 【交付額】291,000円 【申請者】渚ようこ衣装展実行委員会 【内　容】9月28日から10月4日まで白鷹町文化交流センターギャラリーにて、2018年に急逝した白鷹町出身の歌手・渚ようこのステージ衣装の展示を行った。 【実施日】令和7年9月28日（日）～10月4日（土） 【会　場】白鷹町文化交流センターあゆーむ 【参加者】250人	941	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　2.生涯学習の推進

中項目　2. 生涯学習としての自発的な学習活動に対する支援

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
3	白鷹学講座開催支援事業	③雪灯り桜華宴　−雪と桜の織りなす早春の息吹− 【交付額】282,056円 【申請者】しらたか香りラボ 【内　容】白鷹町の特産品の一つである啓扇桜を軸に、地域の伝統工芸や文化資源を融合させた体験型イベント 【実施日】令和8年2月7日（土） 【会　場】白鷹町文化交流センターあゆーむ 【参加者】60人						
4	家庭教育支援事業	【事業概要】 家庭教育の重要性を考慮し、町内小中学校において実施する「やまがた子育ち講座」及び町内保育施設等で実施する「幼児共育ふれあい広場」を支援する事業です。 【成果】 小学校2校、図書館において家庭教育講座を開催し、多くの保護者に参加いただきました。	60	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　2.生涯学習の推進

中項目　2. 生涯学習としての自発的な学習活動に対する支援

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
5	地域学校協働本部事業	【事業概要】 「地域の教育力の向上」や「多様な形態の教員支援」などを目的に、すべての学校区において事業を実施しました。 地域学校活動推進員を2名配置し、各校の学校支援のボランティアの取りまとめを行ないながら、地域全体で学校を支援する体制の構築を目指し取り組みました（国・県・町それぞれ1/3負担）。 【成果】 学習環境の整備をはじめ様々な学校活動に対し、延べ2,686人の方にご協力をいただきました。ボランティア活動を通して地域と学校の融合・連携の深まりが感じられました。 紅花学習においては、生産者の方々や役場商工観光課、教育委員会との日程調整が順調にいき、各学年が「日本の赤をつくる町」を実感できる体験学習をすることができました。また、紅花の歴史を学ぶ時間も設定され、充実した学習の時間となりました。	2,084	4	4	4	A	【特記事項】
6	成績優秀者激励金交付事業	【事業概要】 小中高校生等及びその引率指導者が、生涯学習分野（文化、スポーツ含）において、県大会等の予選を通過し全国規模の大会等に出場する者を讃えることを目的に実施しました。 【成果】 個人16名（高校生9名、中学生2名、小学生5名）、団体4団体（15名）に交付しました。	530	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　2.生涯学習の推進

中項目　3. 町立図書館の充実

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	読書感想文及び生活文コンクール開催事業	【事業概要】 広く町民から読書感想文を募集し優秀な作品を讃えました。平成20年度からは特別賞として童門冬二賞を設けています。 【成果】 子どもたちが本を読み、読書感想文を書くことを通し、自己を見つめるきっかけになるよう実施しています。例年、入選者の作品集を作成し、学校などに配付しています。令和7年度は、32点の作品が入賞し、そのうち10点が特別賞に選ばれました。	216	4	4	4	A	【その他特記事項】
2	図書館情報システム運営事業	【事業概要】 図書館システム構築業務として、新たな端末を導入し、図書館システムの更新、LINE連携、マイナンバーカードとの連携ができるように構築し、より多くの方が快適に図書館を利用できる環境を整備しました。 【成果】 マイナンバーカードで図書館の本が借りられるようになり、また、LINEで本の検索や開館カレンダー、図書館イベントの確認ができるなど大変便利になったことで、登録者も増加している状況です。	15,314	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　2.生涯学習の推進

中項目　3. 町立図書館の充実

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
3	読書活動推進事業	【事業概要】 幅広い世代を対象に、読書に関する講演会や研修会、企画展など様々な事業を展開することで、本に親しんでいただき、また、多くの方に図書館に足を運んでいただくきっかけをつくり、図書館利用者のさらなる増加を目指すとともに読書活動の推進を図ります。 【成果】 親子の絵本製作や手づくり絵本の読み聞かせを通して、親子で触れ合いながら絵本に親しんでもらうことができました。作家の絵本や童話に込めた思いを聞いたり、実際読み聞かせを聞いたりする機会を設けることで読書や読み聞かせの良さを広めることができました。	160	4	4	4	A	【その他特記事項】
4	佐藤文隆文庫活用推進事業	【事業概要】 「佐藤文隆文庫」について、多くのかたの目に触れる機会を作り、継続的に利用できるよう、宇宙探検隊の育成、宇宙に関する講演会等を実施しました。 【成果】 宇宙探検隊の隊員は9名で年間13回の学習会を行ないました。学習会は、町内の朝日風穴の探検、山形大学名誉教授　柴田晋平氏の講演会、天体観測など、普段学習することのない内容が好評で、意欲的に学ぶ子どもたちの姿が見られました。	410	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　3. 文化芸術の振興

中項目　1. 文化力の向上

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	芸術文化振興（芸術祭）事業	【事業概要】 町芸術文化協会との連携により芸術祭を開催し、芸術文化の振興と生きがいづくりの機会創出を図りました。 【成果】 10月24日～10月26日の3日間、文化交流センター「あゆーむ」において開催しました。 展示部門、公演部門、音楽部門と通常の形で実施した。R7も栃尾文化協会との交流を実施し、一般町民の方からの出展、出演も多く集まりました。参加者のべ人数1,762名となりました。	652	4	4	4	A	【その他特記事項】 芸術文化の振興のため今後も開催を継続できるように努めます。また、参加者の拡大に向け、引き続き開催内容の工夫に努めます。
2	伝統芸能保存伝承事業	【事業概要】 「高玉芝居」の保存継承と、鑑賞の場を提供するため定期的な公演を支援する事業です。 【成果】 高玉芝居の定期公演は、さくらの里文化伝承館で開催。地域の文化に触れることを目的とした出前講座は、蚕桑小学校の4年生15名を対象に2回開催されました。	200	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　3. 文化芸術の振興

中項目　1. 文化力の向上

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
3	こども芸術文化活動事業	【事業概要】 こども芸術文化活動の育成を支援するため、町芸術文化協会を通して芸術文化活動を行っている団体を支援しました。 【成果】 芸術文化協会を通して、次の7団体に補助金各7万円を交付しました。それぞれ練習、イベント等に活用されています。 ①白鷹町少年少女合唱団 ②白鷹日本舞踊子ども教室 ③白鷹墨絵文化こども教室 ④子ども茶道会 ⑤こども美術造形教室はーとあーと ⑥鮎貝地区児童神楽保存会 ⑦運動のアトリエキッズダンススクール	490	4	4	4	A	【その他特記事項】
4	文化交流センター管理運営事業	【事業概要】 白鷹町文化交流センター「あゆーむ」の管理運営について、指定管理者に委託して実施しています。 【成果】 利用人数については、43,383人（対前年度比+6.1%）でした。コロナウイルス感染拡大前のH31と比べると△28%と依然大きく減少しています。 梅津五郎絵画展、白鷹町現役アーティスト展、美しい風景写真100人展、木下五郎彫鍛金展、河村尚子ピアノリサイタル、星野尚「タラセア木の絵画45周年記念」、吉川二郎with野口久子「フラメンコギターとギタルパの調べ」、桂吉弥落語会等、幅広い展示やイベントが開催されました。	36,667	4	4	4	A	【その他特記事項】 電気料高騰対策として、令和4～6年度に委託料の増額を行ってきましたが、令和7年度は、必要ありませんでした。 令和8年度から新たに5年間、(株)シグマによる6期目の指定管理となりました。(R8-R12)

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　3. 文化芸術の振興

中項目　2. 文化財等の保護と活用

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	文化財保護対策事業	【事業概要】 指定文化財（国・県・町）の保護管理事業を実施しました。 【成果】 ・国・県・町指定文化財管理費補助金交付　7団体 ・粥餅田湿原保全活動 ・文化財活用コーディネーター設置(学芸員1名) ・龍門図書館管理委託 ・カモシカ対応	6,796	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　3. 文化芸術の振興

中項目　3. 歴史・文化の学習環境の充実

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	文化財保護調査事業	【事業概要】 文化財の保護、管理を行いました。 【成果】 ・小四王原遺跡の管理	18	4	4	4	A	【その他特記事項】
2	歴史民俗資料館管理運営事業	【事業概要】 令和4年に歴史民俗資料館がグランドオープンし、常設展示のほか、企画展は「しらたか桜日より」や「もうひうとつの暮らしの回路(ルート)」「団扇でめぐる荒砥・鮎貝の商店」「地域おこし協力隊とのコラボイベント」等を実施しました。 【成果】 令和7年度の来館者は711名でした。	3,211	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　4.スポーツの推進

中項目　1.健康体力づくりに向け各年代にあったスポーツ活動の推進　　係名　生涯スポーツ係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	第60回白鷹若鮎マラソン大会開催事業	【事業概要】 第60回大会を9月23日(火・祝)に公益財団法人日本陸上競技連盟公認コースで開催しました。 大会第60回記念事業として、ランニングクリニックを開催しました。 【成果】 スポーツ振興くじ(toto)助成金3,158千円を受け、実施しました。1,138名がエントリーし、1,113名が完走しました。	6,467	4	4	4	A	【その他特記事項】 箱根駅伝出場校現役選手の招待選手効果により、昨年度からエントリー数が225名増加しました。前年度の豪雨を受け、予め赤湯駅行きのシャトルバスを準備いたしました。安協等協力いただいている方の稼働時間が長く負担が大きいことも課題でしたが、今年度は時間を短縮しご協力いただきました。参加者の帰宅時、シャトルバス列の混雑が見られたので、来年度改善します。今後の開催に向け、課題を整理して参加者の満足度が上がるよう努力します。
2	白鷹町誕生70周年記念地区対抗駅伝競走大会開催事業	【事業概要】 白鷹町誕生71周年を記念し、10月12日に町内を1周するコースで開催しました。 【成果】 昨年に続き、町役場チームが出場し、各地区を周るコースで開催しました。各地区それぞれに結束して盛り上がりました。地域づくりの意味から、とても大切な事業であると感じました。	486	4	4	4	A	【その他特記事項】 地区によって状況や開催に対する考え方に大きな差があります。 そのため、今後の開催に向けては、関係機関や地区との話し合いを重ねながら、調整を図ります。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　4.スポーツの推進

中項目　2.スポーツ協会や各種団体の育成　　係名　生涯スポーツ係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	白鷹町スポーツ振興基金事業	【事業概要】 スポーツ振興基金運営委員会の決定に基づき、競技力向上対策事業、スポーツ団体の育成、健康づくり推進を目的に、基金の交付を行いました。 【成果】 競技力向上対策事業、町体育協会活動助成事業、各競技団体選手育成事業、町スポーツ健康づくり普及事業、スポーツ推進委員会活動助成事業、スポーツ少年団育成事業を実施しました。成績優秀者激励金は、4名に激励金を交付しました。	2,480	4	4	4	A	【その他特記事項】 この基金は、スポーツ協会加盟団体、中学校部活動、各地区社会体育振興会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団、荒砥高校のスポーツ推進等のスポーツ活動を活発にするための貴重な財源となっています。
2	白鷹町スポーツ協会運営強化支援事業	【事業概要】 総合型地域スポーツクラブを統合したスポーツ協会事務局の体制強化を図りました。 【成果】 スポーツ協会の体制強化を図り、各種大会の調整や準備が円滑に進められるようになっています。	4,469	4	4	4	A	【その他特記事項】 プロスポーツ応援事業も行われました。 スポーツ協会には今後、スポーツ施設の管理業務なども計画的に委託していきます。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　4.スポーツの推進

中項目　3.スポーツ施設の整備・充実

係名　生涯スポーツ係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	社会体育施設管理事業	【事業概要】 蚕桑紬パーク、野球場、ソフトボール場、スポーツ交流館、武道館、町民プール、旧鷹山小学校体育館・グラウンド、スキー場、東陽グランド、学校体育館開放など、スポーツ施設の維持管理、運営を行いました。 【成果】 多くの町民の皆さんに、安全に利用いただきました。	76,191	4	4	4	A	【その他特記事項】 老朽化している施設が多く、優先順位を決めて対応しています。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】